

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきん国内債券ファンド・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	国内の公社債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指します。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、中長期の元本割れリスクを低く抑えたい方を想定しています。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。
 - ② ベンチマークとは、具体的には何を指しますか。
 - ③ ダイワ・ボンド・インデックスとは、どのようなことですか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	<金利リスク>金利の上昇（債券の価格の下落）は、基準価額の下落要因となります。
	<信用リスク>債券の発行体が財政難等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことが出来なくなる場合、債券の価格が下落することがあります。
	<流動性リスク>有価証券を売買する際に、需給状況により希望する時期・価格で売買することができなくなることをいいます。
過去1年間の収益率	-2.7%（2023年9月末現在の騰落率）
過去5年間の収益率	平均-0.9% 最高4.3%（2019年8月末） 最低-5.6%（2022年12月末） （2018年10月～2023年9月の各月末における直近1年間の騰落率）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の7ページから8ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の9ページから10ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問）
- ④ ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。
 - ⑤ 過去5年間の収益率（最低）以上に、運用成果が悪くなるおそれはないですか。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

（税込）

購入時に支払う費用 （販売手数料など）	ありません。
継続的に支払う費用 （信託報酬など）	信託報酬：年0.44%
運用成果に応じた費用 （成功報酬など）	ありません。

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- （質問） ⑥ 信託報酬とはどのように支払われていますか。
⑦ やはり、購入手数料のかからない商品が、適切な選択といえますか。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。
この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.05%をご負担いただき、信託財産内に留保します。
証券取引所の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の12ページに記載しています。

- （質問） ⑧ 償還日には、当初の投資元本が確保されますか。

5. 当金庫の利益とお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.22%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。
当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。
「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

（URL） <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- （質問） ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】
（URL①） <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>
※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
（URL②） <http://www.skam.co.jp/fund/detail/id=28>
※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。
当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきん国内債券ファンド

	<質問>	<回答例>
①	この商品は、どのような観点から、私にふさわしいと考えていますか。	お客様の資産構成を補完するクラスの商品であること、また投資ご経験からも十分ご理解いただける商品です。
②	ベンチマークとは、具体的には何を指しますか。	投資銘柄の決定などにあたって目安となる指標のことです。例えば日本株式に投資する投資信託であればTOPIXや日経平均株価などの指数がこれに当たります。しんきん国内債券ファンドはダイワ・ボンド・インデックス総合をベンチマークとし、運用を行います。
③	ダイワ・ボンド・インデックスとは、どのようなことですか。	日本における確定利付債券市場のパフォーマンスを測定するように設定された指数で株式会社大和総研が計算、公表しています。（目論見書をご参照ください）
④	ファンドとしての平均利回りと投資家への分配金利回りは異なりますか。	異なります。もしファンドとして受取る利回りが3%なのに、投資家への分配金利回りが8%であれば、その差額分は別の原資に依存していることとなります。
⑤	過去5年間の収益率（最低）以上に、運用成果が悪くなるおそれはないですか。	可能性としてはあります。実際、10数年前にリーマンショックが起きたときは、単年度では、これよりもさらに悪い収益率でした。しかし中期保有していくことで、ある程度、平均化していくとはいえます。
⑥	信託報酬とはどのように支払われていますか。	毎月の基準価額は、この信託報酬の日割り分が控除されて算出されてきます。例えば1%でも、5年間保有されると5%となる点、ご注意ください。
⑦	やはり、購入手数料のかからない商品が、適切な選択といえますか。	購入手数料の有無や料率の高低と、その商品の運用成果には連動性はありません。長期保有をお考えであれば、手数料率以外の視点、例えば過去の収益率なども考慮いただくことも必要です。
⑧	償還日には、当初の投資元本が確保されますか。	その償還日時点の基準価額で計算された金額が、償還されることとなります。したがって、最終的に投資元本割れとなるおそれがあります。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。